

成田空港活用協議会  
平成30年度 事業報告  
(資料編)

## 目 次

### (1) ビジネス支援事業

- アジア経済圏におけるマーケティング・・・・・・・・・・ 1
- アクティビティ（体験型）商品開発・・・・・・・・・・ 3
- 航空/空港関連企業との商談会・・・・・・・・・・ 5
- ランドオペレーターとの商談会・・・・・・・・・・ 8
- ユニバーサルツーリズムの促進・・・・・・・・・・ 10
- 将来的な人材育成を行うための調査・検討・・・・・・・・ 12
- 県内観光情報・成田空港の魅力発信・・・・・・・・・・ 13
- 第1回県内経済活性化ビジネスセミナー・・・・・・・・・・ 16
- 第2回県内経済活性化ビジネスセミナー・・・・・・・・・・ 18
- 第3回県内経済活性化ビジネスセミナー・・・・・・・・・・ 21

### (2) 空港利用促進事業

- 空港利用促進PR・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23

### (3) 基本的な取組

- 首都圏中央連絡自動車道及び北千葉道路の整備推進に関する要望・・・ 26
- 事業の見直し（会員提案の検討・実施）・・・・・・・・・・ 28

### (4) その他

- プレスリリース・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 29

## (1) ビジネス支援事業

### アジア経済圏におけるマーケティング

現地消費者を対象に定量・定性調査を実施、分析することで、県内誘客・県産品の認知拡大を促進する。

平成30年度においては、現地消費者の千葉県に対する観光/購買ニーズの可能性を探り、次年度以降の施策に繋がるデータの収集及び分析を目的とした現地消費者調査を実施した。

#### [展開]

##### (1) オンラインアンケートによる定量調査

- ・目的：アジア経済圏各国の消費者の好みや購買の可能性を探り、今後の施策に繋がるデータの収集及び分析をすることで、マーケットの全体像を把握する。
- ・調査国：6か国（台湾、香港、タイ、マレーシア、インドネシア、ベトナム）
- ・調査対象：FUN! JAPAN会員 ※日本好きや訪日リピーターの現地消費者が集まるコミュニティ
- ・調査期間：平成31年2月1日(金)～2月22日(金)
- ・集計サンプル数：

台湾	香港	タイ	マレーシア	インドネシア	ベトナム
980	924	713	988	1592	355

- ・主な調査結果：
  - ・成田空港の利用割合は高いものの、関東地方に宿泊した人のうち千葉県に宿泊した人は1～2割程度、宿泊しなかったが観光で訪れた人は3割程度となっている。
  - ・県内観光スポットについて、成田山新勝寺、鴨川シーワールド、東京ドイツ村の認知度は5割を超える。ただ、「千葉県にそのスポットがある」という認知度はあまり高くない（最も認知されていた成田山新勝寺は3割程度）。なお、県内観光スポットのPRポイントを説明した上で千葉県への訪問意向を問うと、7～8割程度が「宿泊込みで千葉県に旅行したい」と回答。
  - ・県産品の消費/購入経験は、食品（農水産物、加工品）が1～2割、物品が1割弱程度とほとんど経験がないが、物品と比べ食品の消費/購入意向は高く、特に加工品については「試食をした上で美味しかったら買いたい」人も含め8～9割が購入意向を示し、全国的に有名なお土産の購入意向と同等となる。
  - ・県産品を越境ECで購入したい割合は1～2割程度。なお、全国的に有名なお土産でも購入意向は2割程度であり大きな差はない状況。

## (2) オンラインヒアリングによる定性調査

- ・目的：定量調査によりセグメントされた消費者に対し、アンケートでは引き出せない詳細情報（訪日理由、訪千葉決定要因等）をヒアリングにより深堀する。
- ・調査国：(1)と同じ
- ・調査対象：(1)回答者のうち「①千葉県に宿泊した人」「②千葉県を観光したが宿泊しなかった人」「③成田空港は使ったが千葉県は素通りした人」のいずれかに該当する人
- ・調査期間：平成31年3月8日(金)～平成31年3月22日(金)
- ・集計サンプル数：

台湾	香港	タイ	マレーシア	インドネシア	ベトナム
151	79	85	56	108	34

- ・主な調査結果：
  - ・千葉県に宿泊した人について、東京ディズニーリゾート・成田山新勝寺以外に訪問が多い観光スポットは鴨川（鴨川シーワールド）と銚子。
  - ・千葉県に宿泊・観光した人が食の経験として回答するものはメジャーな日本料理（寿司、ラーメン等）が多く、千葉県独自の食を経験した人は少ない。
  - ・お土産についても、食と同様にロイズ、じゃがポックル、東京ばな奈といった全国で有名なお菓子を最終日に成田空港で購入している人が多く、観光スポットでお土産を買ったのは少数である。
  - ・台湾、香港、タイ及びマレーシアの千葉県に宿泊・観光した人は、インターネットで情報を得ているFITが多く見受けられる。

### [総括]

- 県内観光スポットのPRポイントを理解いただくことで宿泊を含む千葉県への訪問意向が高くなっていることから、まずは千葉県の認知度向上を目的に、代表的な観光地を起点とした情報発信及び来訪意向を喚起する施策をしっかりと行うことが県内への誘客に繋がると思料する。
- 今年度は、調査結果を踏まえ、マーケティング実施国を選定（2～3か国程度）し、県内への誘客・消費拡大に向けた情報発信やトライアル事業を実施に向けて検討を進めていきたい。
- なお、昨年度調査結果については、今年度総会（7月18日）後に開催する「第1回県内経済活性化ビジネスセミナー」にて報告を行う。

## アクティビティ(体験型)商品開発

アクティビティ(体験型)の公募とモニターツアーの実施により、県内へのインバウンド誘客に繋がる新たな商品展開を目指す。

平成30年度においては、本事業に参加する会員を公募により選定し、次年度モニターツアーの実施に向け、選定した会員と連携しアクティビティ商品の開発を開始した。

### [展開]

本事業を通じてアクティビティ(体験型)商品の開発や磨き上げを行いたい会員の公募を実施した。

公募の概要及び選定結果については以下のとおり。

- ・公募期間：平成30年11月19日(月)～平成30年12月12日(水)
- ・応募総数：7事業者、9提案
- ・選定結果：本採択事業者 4、連携事業者 2 ※概要は別紙参照

### [総括]

- 昨年度幹事会での事業採択時には3～5会員の選定を目標としていたが、想定よりも多くの応募が集まり、かつ、応募会員が本事業にとっても意欲的であったことから、連携会員を含め6会員を選定することができた。
- 現在、モニターツアーの実施に向けて各選定事業者と打合せを進めているところだが、特に本採択会員は事業への熱意が強く、モニターツアー後の商品の磨き上げや商品の販売(自走化)に向けて前向きに取り組んでいける会員を選定できた。
- 今年度は、外国人目線でのアクティビティ商品開発を目的とし、モニターツアーを実施する。ツアー後は、モニターからの意見や感想を踏まえ更なる商品の磨き上げを行い、次年度のトライアル販売開始に向けてアクティビティ商品の完成を目指す。

(別紙)

番号	応募会員	応募要旨	選考結果	備考
1	(一社)成田スポーツコミュニケーション	ロードバイクを活用したガイドツアー	本採択会員	
2	鴨川市	農家民泊、萬祝染体験、太巻き寿司づくり体験等	本採択会員	
3	芝山町 ((一社)緑と空のプロジェクト)	家庭料理体験ツアー、芝山フォトジェニックツアー	本採択会員	
4	千葉市 (㈱ケア・グリーン)	千葉氏の歴史と紐づけたストーリーによる 殺陣体験とオリジナル短編映画の作成	本採択会員	
5	京成タクシー成田	移動交通手段としてのジャンボハイヤーの活用	連携会員	本採択会員との連携 (二次交通の提供等) を検討
6	成田空港レンタカー協会	アクティビティ体験場所までの移動交通手段 としてのレンタカーの活用	連携会員	本採択会員との連携 (二次交通の提供等) を検討
7	千葉市 (ラオックス㈱)	ナンバーバルパフォーマンス「ギア-GEAR-」の販路拡大	採択見送り	本事業の趣旨に合致しないため見送る
8	㈱グリーンポート・エージェンシー	夜の空港内における恐竜ショーの開催	採択見送り	担当者レベルの提案で自走化の体制が整えられなため見送るが、他の商品へのアイデア活用等を検討していく
9	㈱グリーンポート・エージェンシー	日本家屋の見学、県内農産物を利用した料理体験	採択見送り	担当者レベルの提案で自走化の体制が整えられなため見送るが、他の商品へのアイデア活用等を検討していく





出展者の商品を試食する森田特別顧問



個別商談の様子



展示商談の様子1



展示商談の様子2

## [展開]

日時:平成31年3月19日(火)10時~16時50分(午前の部・午後の部の2部制)

場所:ホテル日航成田

参加者:バイヤー 8社(10部門)

サプライヤー 56社

- ・「おいしい千葉と空の商談会2019春」と題して、日本航空(株)の協力のもと、日本航空関係先企業をバイヤーとして招集し、千葉県内に事業所等を持つ事業者を対象に商談希望者を募った。
- ・応募者の中から、バイヤーの指名が多かった事業者を参加者として指定し、事前説明会(2月21日(木)於:成田商工会議所)に参加してもらった。
- ・事前説明会では、今回の商談会の運営を受託している有限会社永瀬事務所(バイヤーズガイド事務局。以下「バイヤーズガイド事務局」)から商談会に向けての心構え、商談の際の注意事項、今回の商談会についての事務的説明等について講演を行った。
- ・商談会では、個別商談及び展示商談会を実施。個別商談は1コマ20分とし、午前の部は3コマ、午後の部は5コマを個別商談の時間として設けた。個別商談は事前のバイヤー指名

に基づきセッティングし、事前に組んだ時間割により進行。展示商談は、午前の部、午後の部それぞれ1時間10分の時間を設け、全参加者が展示ブースを設けそれぞれ自社の商品をアピールした。

- ・受託事業者であるバイヤーズガイド事務局では、商談会後の各参加者のフォローアップについて、今後アフターフォローを実施。

#### [メディアへの露出]

- テレビ 千葉テレビ（3月19日）
- 新聞等 時事通信（3月19日）、千葉日報（3月20日）、日刊工業新聞（3月20日）、読売新聞（3月21日）

#### [アンケート結果]

##### <商談の成果>

(バイヤー)(N(商談件数)=60)

具体的な商談成約をした=0

成約には至らなかったが継続的な商談に期待が持てる=53

継続的な商談の可能性は低い=7

(サプライヤー)(N(商談件数)=40)

具体的な商談成約をした=0

成約には至らなかったが継続的な商談に期待が持てる=34

継続的な商談の可能性は低い=6

上記のほか、バイヤーからサプライヤーに具体的なアドバイスを送ったケースも13件あり、県内事業者への期待の高さがうかがえた。

##### (主な意見)

- ・ ぜひまた次回も出展したい。
- ・ 今日とはとてもよい商談ができた。
- ・ バイヤーのニーズや顧客の動向等、貴重な情報を取得できた。
- ・ 販路開拓、輸出展開等、今後のビジネスに発展していけると期待が持てた。
- ・ 出展者とバイヤーの区別がわかりにくかった。
- ・ 展示の時間のバイヤーが少なかった。

#### [協力会員]

日本航空(株)、(株)ティエフケー、成田商工会議所、(株)千葉銀行、(株)千葉興業銀行、(株)京葉銀行

#### [総括]

- その場での商談成立はなかったものの、バイヤー・サプライヤーの多くから「継続的な商談を行いたい」という意見が聞かれ、通常であればなかなか接点を持つことができない両社を繋げることができた。
- 会員金融機関、会員経済団体、会員市町村等を通じて広く声を掛けてもらった結果、定員の倍の参加申込があり、開催の周知方法については手応えを得ることができた。
- 事前説明会により、商談会への準備や心構え等について、丁寧に説明した結果、一定のレベルが担保され、より高いレベルでの商談が可能となった。

## ランドオペレーターとの商談会

昨年度に引き続き、当協議会と千葉インバウンド促進協議会の共催のもと、会員企業、団体及び自治体にランドオペレーターを活用していただくことで、千葉県を訪れる訪日外国人旅行客の増加に向けた魅力的な旅行商品の造成に繋げ、アジアからの観光客の更なる増加を目指すため、東アジアや東南アジアの両地域を手掛けるランドオペレーターとの「商談会・交流会」を実施した。

### ※ランドオペレーター

海外の旅行会社の依頼により、日本国内の宿や観光地、往復航空機以外の交通手段などの「地上手配」を専門に行う会社のこと。海外発の日本旅行における地上手配は、日本国内に詳しいランドオペレーターに手配を委託することが一般的なため、旅行商品の造成にも大きく関わっている。

### [展開]

- 平成31年2月25日（月）にマロウドインターナショナルホテル成田にて商談会を行った。
- 商談会では、ランドオペレーター15社・団体に対し、31の会員企業・団体が参加した。
- 商談の前に千葉県商工労働部観光誘致促進課から、今後のインバウンド事業に関する支援や取組について参加者に情報提供を行った。
- 商談会はランドオペレーターのブースを設置し、会員企業・団体が各ブースを回り、1コマ10分で12コマ実施した。また、商談会終了後の交流会で、さらなる交流を深めた。



各ブースでの商談の様子



交流会の様子

### [メディアへの露出]

- テレビ 千葉テレビ (2月25日)
- 新聞 千葉日報 (2月26日)

### [参加者等]

- 会員 31団体(社) 55名 (千葉インバウンド促進協議会員を含む)

### [協同主催者]

千葉インバウンド促進協議会

### [協力会員]

(公社) 千葉県観光物産協会、千葉県

### [総括]

- 昨年度に引き続き、千葉インバウンド促進協議会との共催により、観光・宿泊・交通と幅広い会員事業者を呼ぶことができた。
- 参加者からは10分間の商談会のなかで成約まで至るのは難しかったが、今回のことをきっかけに個別の訪問を重ねたいといった声があり、今後の展開に向けたきっかけづくりとして利用された。
- 交流会では、参加者同士が個々に歓談できる時間を増やすことで、商談会で話し足りなかった部分を補うことができた。
- 開催後のアンケートでは、参加した会員から今後も引き続き行ってほしいという声があった。参加者からの要望事項などを踏まえ、次年度以降も継続的(年1回程度)に開催を検討する。

## ユニバーサルツーリズムの促進

オリ・パラへの対応や高齢者層の増加を見据え、ユニバーサル対応への準備を契機として、ニーズの掘り起こしを行い、新たな商機につなげる。

本年度においては、ユニバーサル対応への準備を図る意識を醸成するとともに、ニーズの掘り起こしを行い、新たな商機につなげることを目的に、(公社)千葉県観光物産協会等と連携して、①座学セミナー・②フィールドワーク・③モニターツアーを実施した。

### [展開]

#### 1 座学セミナー

##### 《開催概要》

- ・日 時：平成30年7月13日（金） 13：30～16：15
- ・場 所：ホテルポートプラザ千葉2F
- ・内 容：
  - 講師：湊山知弘氏（KNT-CTホールディングス(株)事業戦略統括部課長）
  - 講演（13：30～14：30）
    - ～テーマ～
    - 「ユニバーサルツーリズム」という考え方
    - 国内外のツアー事例を通じて工夫を知りヒントを探る
  - 体験（14：45～16：15）
    - ～内容～
    - 障がい者サポートガイドの解説（東京2020組織委員会作成資料）
    - 車いす、アイマスクを使用した疑似体験
- ・参加者：33名
- ・参加者アンケート
  - 講演：大変参考になった85.7% 参考になった14.3% その他0%
  - 体験：大変参考になった89.3% 参考になった10.7% その他0%

#### 2 フィールドワーク

##### 《開催概要》

- ・日 時：平成30年9月28日（金） 13：30～17：00
- ・場 所：香取市内（佐原町並み交流館、小野川周辺及び香取神宮）
- ・内 容：
  - 講師：湊山知弘氏（KNT-CTホールディングス(株)事業戦略統括部課長）
  - 講演（13：30～14：30）
    - ～テーマ～
    - 「ユニバーサルツーリズム」という考え方
    - 国内外のツアー事例を通じて工夫を知りヒントを探る
    - フィールドワークの目的について
  - ※7月の座学セミナーに不参加の方がいたことから内容が一部重複
  - フィールドワーク（14：40～16：30）
  - 行程：佐原町並み交流館⇒小野川周辺⇒香取神宮

### 3 モニターツアー

#### 《開催概要》

- ・日 時：平成31年3月7日（木） 10:00～16:00
- ・内 容：  
行程：成田山新勝寺⇒マロウドインターナショナル成田ホテル⇒さわら雛めぐり
- ・参加者：8名
- ・参加者アンケート
  - 成田山新勝寺について：とても良い38.0% 良い62.0% その他0%  
評価理由：新勝寺の中まで入れてガイドから説明があり良かった  
バリアフリーが行き届いていたなど
  - マロウドインターナショナルホテル成田について：  
とても良い25.0% 良い63.0% 普通12.0% その他0%  
評価理由：トイレが広く使いやすかった  
空港が近く、景色が良い  
車いす用トイレが2つほしいなど
  - 食事について：とても良い50.0% 良い38.0% 普通12.0% その他0%  
評価理由：千葉県産のものが食べれて良かった  
味がよいなど
  - さわら雛巡りについて：とても良い50.0% 良い50.0% その他0%  
評価理由：壁や建物の造りなど触ることができて実感できた（視覚障害者）  
ガイドさんの説明で佐原の歴史を知れたなど



[総括]フィールドワークの様子

モニターツアーの様子

- 座学セミナーやフィールドワークを通じて、会員のユニバーサル対応への準備を図る意識醸成のきっかけとなった。
- モニターツアーを通じて、千葉県外の障害者や高齢者に県内観光施設のPRを行うことができた。
- 次年度以降も引き続き座学・フィールドワーク・モニターツアーなどを通じて会員のユニバーサルツーリズムに対する意識醸成を図っていく。

## 将来的な人材育成を行うための調査・検討

今後、成田空港の機能強化により、航空機発着枠が現行の30万回から50万回へと拡大された場合、成田空港の関連企業が、雇用確保の問題に直面することが予想される。

こうしたなか、成田空港関連企業の雇用拡大に向けた今後の課題や方向性を探るため、基礎調査（「成田空港関連企業の雇用ニーズ調査」）を実施した。

### [展開]

成田空港関連企業の雇用ニーズ調査の実施概要は、次のとおり。

#### 1 目的

成田空港の雇用各拡大に向けた基礎調査として、成田空港関連企業の雇用ニーズ及び県内教育機関の成田空港に対する期待及び連携の可能性などを明らかにし、今後の課題や方向性を探る。

#### 2 調査期間

平成31年2月～3月

#### 3 調査方法

##### (1) アンケート調査

対象：成田空港関連企業 542社 うち有効回答数 133社

##### (2) ヒアリング調査

対象：県内教育機関 4校（大学2校、高校2校）

### [総括]

#### 1 調査結果から見えてきた点

##### (1) 成田空港関連企業の雇用の現状

- ・業況の改善傾向もあり人手不足感が強まっている。

【約7割の企業が経営上の課題として「人手不足（技術者以外）」を挙げた。】

##### (2) 教育機関から見た就職の現状

###### 1) 大学

- ・2017年度の就職内定率は、ほぼ100%の売手市場。
- ・県内よりも賃金水準の高い都内企業への就職を目指す学生が増えている。

###### 2) 高校

- ・就職希望者にとって、完全な売手市場。
- ・企業の求人意欲が強まるなか、より良い条件の企業を選択する生徒が増えている。

#### 2 調査結果の活用

- ・次回総会（7/18開催）終了後、「第1回県内経済活性化ビジネスセミナー」において、会員に向けて調査結果を報告する予定。
- ・今後は、調査結果を踏まえ、企業と教育機関との情報共有の場を設けたい。

## 県内観光情報・成田空港の魅力発信

WEB等を活用した国内外に対する県内観光情報の効果的な発信及び地域における成田空港の魅力発信を行う。

本年度においては、昨年度から引き続き、訪日外国人の県内誘客を企図し、多言語発信対応WEBサイトでの魅力発信を継続した。

MATCHA 旅先 旅の目的 日本旅行の基本情報 予約 検索



成田空港から出発！海鮮、温泉、絶景を楽しむ千葉南房総への旅

千葉県 2019.01.28 ☆ お気に入り

成田空港到着後、直接東京へ出てしまう旅行者は多いかもしれません。一歩違った旅程を楽しみたい人は、千葉県南部の「南房総」へ足を運んでみませんか？ 東京近郊とも言える南房総は、東京に住む人がレジャーに訪れる場所でもあります。南房総エリアの入り口まで、成田空港から電車で約2時間足らず。海鮮や秘境など、都部では体験できない観光スポットが多くあります。本記事を参考に、南房総を堪能してみてください！

翻訳者 Kunihisa

MATCHA 旅先 旅の目的 日本旅行の基本情報 予約 検索



温泉、海鮮グルメ、絶景を堪能！成田空港から行く千葉の温泉宿4選

千葉県 2019.01.31 ☆ お気に入り

温泉や海鮮グルメ、絶景が好きな方は東京近郊の千葉県がオススメ！ 千葉は温泉宿が多く、海や山に置いた自然豊かな場所。新鮮な海の幸も魅力的です。今回は人気エリア別に千葉のオススメ温泉ホテルを4つ紹介。次回の日本旅行の参考にしてください。

翻訳者 Kunihisa  
ライター MATCHA-PR

MATCHA 旅先 旅の目的 日本旅行の基本情報 予約 検索



家族旅行なら成田空港からドライブがオススメ！子どもも楽しめる千葉の観光スポット

千葉県 2019.02.20 ☆ お気に入り

家族旅行、とくに子どもを連れて旅行する際、重い荷物を持ち運ぶのは大変です。そんな時にはレンタカーでドライブ旅行がオススメ！ この記事では、成田空港のある千葉県で、家族旅行にぴったりの観光スポットと宿泊施設を紹介します。レンタカーで遊びつくしましょう！

翻訳者 将方  
ライター MATCHA-PR

MATCHA 旅先 旅の目的 日本旅行の基本情報 予約 検索



成田空港発の南房総レンタカー1泊2日プラン。絶景、グルメ、ショッピングに温泉宿付き！

千葉県 2019.02.23 ☆ お気に入り

成田空港に到着したら、南房総エリアにドライブ旅行がオススメ！ 人混みから抜け出して絶景、秘境を楽しんだり、海鮮グルメを心ゆくまで味わえます。成田空港でレンタカーを予約すれば、約1時間40分程度で南房総エリアです。ここでは1泊2日の現地観光スポットとオススメの宿を紹介します。日本の旅行がさらに楽しいものになりますよ！

翻訳者 将方  
ライター MATCHA-PR

## 【展開】

- 外国人向けウェブマガジン「MATCHA」内の成田空港特集のウェブサイト在香港・台湾をメインターゲットとした多言語のWEB記事配信を行った。
- テーマについては、平成29年度に当協議会で実施したインバウンド周遊動向調査の内容をもとに決定し、平成31年1月28日から平成31年2月23日にかけて全4回に分けて配信した。
- 実際の台湾人の意見を取り入れて、外国人目線で見えた魅力的なスポットについて取材を行い、台湾人ライターが作成した記事を8言語（日本語、英語、中国語（繁体字、簡体字）、韓国語、インドネシア語、タイ語、ベトナム語）に翻訳（レンタカー記事については、日本国内での運転が禁じられている中国本土、ベトナム、インドネシア語の翻訳はなし）。
- 作成した記事に対して、Facebook 広告を運用し、ターゲットに情報の拡散を行った。

## ■外国人向けウェブマガジン「MATCHA」について（平成31年4月1日現在）

- ・ターゲットユーザー  
国：台湾、タイ、香港等（全244の国・地域からアクセスあり）  
年齢：20代～30代 属性：FIT（個人旅行者）
- ・メディア概要  
PV：約6,264,000回/月 ※PV=ページビュー（サイトが見られた回数）  
UU：約2,962,000人/月 ※UU=ユニークユーザー（サイトを訪れる人の数）

## ■配信記事

- ① 成田空港から出発！海鮮、温泉、絶景を楽しむ千葉南房総への旅  
(<https://matcha-jp.com/jp/6819>)
  - ・養老溪谷 ・小湊鐵道、いすみ鐵道 ・鋸山 ほか  
総PV数：12,093PV 閲覧ユーザー数：11,596人
- ② 温泉、海鮮グルメ、絶景を堪能！成田空港から行く千葉の温泉宿4選  
(<https://matcha-jp.com/jp/6869>)
  - ・千倉温泉 千倉館 ・別邸海と森 ・旬彩の宿 緑水亭  
・たてやま温泉 千里の風  
総PV数：11,742PV 閲覧ユーザー数：11,193人
- ③ 家族旅行なら成田空港からドライブがオススメ！子どもも楽しめる千葉の観光スポット  
(<https://matcha-jp.com/jp/6849>)
  - ・ふなばしアンデルセン公園 ・竜宮城スパホテル三日月  
・佐原の町並み ・九十九里浜 ほか  
総PV数：12,435PV 閲覧ユーザー数：11,989人
- ④ 成田空港発の南房総レンタカー1泊2日プラン。絶景、グルメ、ショッピングに温泉宿付き！  
(<https://matcha-jp.com/jp/6888>)
  - ・道の駅 木更津うまくたの里 ・魚彩和みの宿 三水  
・鴨川シーワールド ・道の駅 保田小学校  
・三井アウトレットパーク 木更津 ほか  
総PV数：12,261PV 閲覧ユーザー数：11,686人

## ■言語別PV数・滞在時間

言語・記事比較	日本語		英語		繁体字		タイ語		簡体字		インドネシア語		ベトナム語		韓国語	
	PV	滞在時間	PV	滞在時間	PV	滞在時間	PV	滞在時間	PV	滞在時間	PV	滞在時間	PV	滞在時間	PV	滞在時間
成田空港から出発！海鮮、温泉、絶景を楽しむ千葉南房総への旅	475	1:50	3,104	2:09	2,400	3:07	3,595	2:24	58	2:36	1,717	2:01	57	2:26	685	3:40
温泉、海鮮グルメ、絶景を堪能！成田空港から行く千葉の温泉宿4選	556	2:13	2,616	3:23	2,386	3:20	3,504	3:37	97	2:16	2,070	3:02	33	3:56	473	2:43
家族旅行なら成田空港からドライブがオススメ！子ども楽しめる千葉の観光スポット	318	1:52	5,415	1:53	1,850	3:09	4,530	2:20	配信なし						318	1:39
成田空港発の南房総レンタカー1泊2日プラン。絶景、グルメ、ショッピングに温泉宿付き！	239	2:08	4,305	2:05	2,254	3:02	5,096	3:14	配信なし						366	2:28

### [協力会員]

小湊鐵道、三井不動産（株）勝浦市、香取市、大多喜町

### [総括]

- 事前にテーマの大枠を設定して記事制作したため、4本の記事を通じて「地域紹介（認知）→具体的コンテンツ紹介→周遊モデルルート紹介」と一連の流れをつけて県内観光情報を紹介することができた。
- 県内でも温泉を楽しめるということを訪日ニーズのある外国人に対して認知を上げることができた。また、どの言語でも温泉4選の記事が比較的長く読まれる（ページ滞在時間が長い）傾向があり、「成田空港からのアクセスが良好な温泉」というテーマが関心を惹いたと考えられる。
- 繁体字（台湾人）はどの記事についても3分以上記事を閲覧していることから、千葉（房総半島）への関心の高さがうかがえる。このことから、リピーター化してきている台湾人にとって、「成田空港から近い千葉」に関心が向いてきていることが考えられる。  
したがって、千葉との親和性が高い台湾人を今後もターゲットとして、訪日台湾人への影響が強いMATCHAを活用し情報発信していきたい。

## 第1回県内経済活性化ビジネスセミナー

平成29年度に実施した「千葉県インバウンド周遊動向調査」の調査結果について、会員のビジネスチャンスやインバウンド施策につなげるため、「周遊データを活用したインバウンドビジネスの成功戦略～千葉県インバウンド周遊動向調査報告～」と題したセミナーを平成30年度総会に併せて開催した。



セミナー会場の様子



主催者挨拶する小松経済活性化部会長  
((株)ちばぎん総合研究所担当部長)



講演する(株)ちばぎん総合研究所の関部長



講演の様子

### [展 開]

日時:平成30年5月25日(金) 11:00～12:00

場所:オークラ千葉ホテル 3階エリーゼ

内容:「周遊データを活用したインバウンドビジネスの成功戦略～千葉県インバウンド周遊動向調査報告～」と題して、調査を受託した(株)ちばぎん総合研究所の関調査部長が講演を行った。

セミナーでは、「千葉県インバウンド周遊動向調査」の調査結果を説明し、平成28年度調査においてインバウンド誘致のために必要な取り組みとして挙げた4つの方向性をベースに、今回の調査結果の要素を加え、インバウンドビジネスの成功戦略について提言した。

## [参加者等]

- 会員 96団体(社) 132名
- メディア 10社 10名

## [アンケート結果] N=50

セミナーの内容について

- ・ 大いに参考になった 54.0%
- ・ ある程度参考になった 44.0%
- ・ あまり参考にならなかった 2.0%

インバウンド周遊動向調査について

- ・ 大いに興味深かった 58.0%
- ・ ある程度興味深かった 40.0%
- ・ あまり興味深いものはなかった 2.0%

(主な意見)

- ・ インバウンド対応への取り組みの重要性を再認識した。
- ・ 千葉県におけるインバウンドの旅行過程が明確にわかった。
- ・ 国ごとに周遊動向の傾向に違いがあることが興味深かった。
- ・ 千葉で温泉に入るという目的を持った旅行者がいることは新たな発見だった。
- ・ ホームページやパンフレット等の多言語化の必要性を強く感じた。

## [総括]

- 今回の調査は、千葉県内に宿泊したインバウンドが、どの空港から日本に入ってどの交通機関を利用し、どこを観光してどこに宿泊し、どの空港から帰国するかという周遊の過程を明らかにし、それをルート化して見せるという新しい試みであったが、インバウンドの動向がよくわかったという会員の声が多かった。
- 総会後に実施したため、多くの会員に参加いただくことができた。

## 第2回県内経済活性化ビジネスセミナー

～外環道千葉県区間開通により期待される地域活性化効果と発展方向～

平成30年6月2日に外環道三郷南IC－高谷JCT間が開通したことを受け、千葉県・成田空港と関東一円がより便利につながることの経済効果を考えるとともに、外環道との結合が予定されている北千葉道路の開通への期待感を醸成するため、「平成30年度第2回県内経済活性化ビジネスセミナー～外環道千葉県区間開通により期待される地域活性化効果と発展方向～」を開催した。

このセミナーでは、国、地元商工会議所、近隣物流関連企業の講演に加え、開通したばかりの外環道松戸IC－高谷JCT間を実際に走行し、成田空港と東葛飾地域がより短時間でつながる意義・効果を体感するバスツアーも併せて実施した。



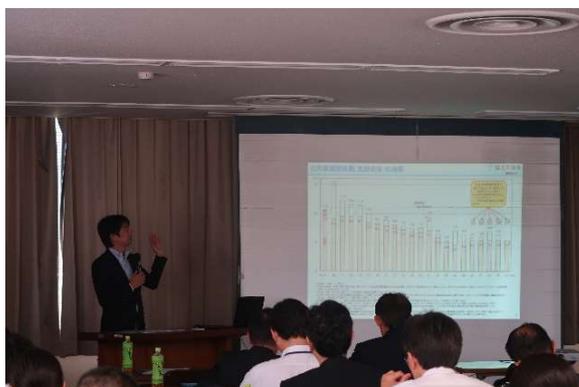
バスツアーの道中で講義する小松経済活性化部会長  
((株)ちばぎん総合研究所調査部担当部長)



主催者挨拶する水野参与  
((株)ちばぎん総合研究所取締役社長)



セミナー会場の様子



講演する国土交通省関東地方整備局の鈴木道路企画官



講演する松戸商工会議所の薄葉専務理事



講演するプロロジス開発部の村上部長

## [展 開]

日時:平成30年6月4日(月) 10:30~16:40

場所:千葉県東葛飾合同庁舎会議室及び外環道バスツアー(千葉市~松戸市)

内容:

### ア セミナー

- ① 『首都圏における外環道の重要性・整備効果と今後の整備の展望等』  
国土交通省関東地方整備局道路部 鈴木道路企画官
- ② 『外環道の開通により期待する効果』  
松戸商工会議所 薄葉専務理事
- ③ 『最新鋭の物流施設展開と社会インフラ(高速道路・空港)の活用』  
プロロジス開発部 村上部長

### イ 外環道体感ツアー

『外環道整備により期待される千葉県の発展方向と課題』  
㈱ちばぎん総合研究所 小松調査部担当部長

## [メディアへの露出]

□新聞 日刊建設工業新聞(6月8日)

## [参加者等] 78名

□会員 38団体(社) 76名

□メディア 2社 2名

## [アンケート結果] N=64

セミナーの内容について

- ・ 大いに参考になった 51.5%
- ・ ある程度参考になった 48.5%

(主な意見)

- ▶ 実際に走行することで、千葉～松戸間の所要時間の短縮を体感できた。
- ▶ 時間短縮を実感した。お客様に与えるストレスも軽減されると考えられるため、新たな旅行プランを提案できそう。
- ▶ 外環道の開通に関して、異なる各関係者からの視点で解説いただいた点がとてもよかった。
- ▶ 世界規模の物流施設関連企業の施設展開への考え方を聞いて大変参考になった。
- ▶ 北千葉道路は成田空港へのアクセスを強化するものであり、防災上のメリットも多いため、早期に開通を目指すべきとの認識を深めた。

[総括]

- 開通3日目という、時機を捉えたセミナー・バスツアーであったため、会員の関心も高く、外環道開通の意義と効果について、会員に強く印象付けることができた。
- 国、地元団体、民間開発業者とそれぞれの立場から外環道開通について講演をいただくことで、会員に対して多岐にわたる情報を提供することができた。
- 日頃から事業活動等で千葉～松戸間を移動する会員の多くが、身近な問題として不便さを感じていたが、実際に外環道をバスで走行することにより、身をもってその便利さを実感してもらえた。
- 今回のセミナーにより、会員に、道路をはじめとしたインフラ整備の効果・必要性を実感していただいた。その結果、東葛飾地域と成田空港とを直結する北千葉道路についても、多くの会員に早期開通の必要性を再認識していただいたこと から、今後の機運醸成に期待がもてる。

## 第3回県内経済活性化ビジネスセミナー

成田空港を中心として生まれる人・物・財の流れを、県内各地域で取り組まれている地方創生の動きとどのように連携させるべきかを考えるため、地域振興に深い知見を持つ藻谷浩介氏(株)日本総合研究所主席研究員)を講師としてお迎えし、「平成30年度第3回県内経済活性化ビジネスセミナー～成田空港から地方創生を考える～」を開催した。



主催者挨拶する水野参与  
((株)ちばぎん総合研究所取締役社長)



講演する藻谷氏



講演の様子1



講演の様子2

### [展 開]

日時:平成30年10月31日(水) 14:00～16:00

場所:京成ホテルミラマーレ 6階ローズルーム

内容:「成田空港から地方創生を考える～空港を活用して地域経済をどう伸ばすか～」と題して、(株)日本総合研究所藻谷浩介主席研究員より講演を行った。

講演では、冒頭、日本及び地域の人口構造などを例に、統計データに基づいて現状を理解することが重要である旨の説明があり、その上で、千葉県が活かしていくべき地域資源のアドバイス等、国内で取り組まれている先進事例等を例に、これからの県内各地域の目指す方向性について提言をいただいた。

## [参加者等]

- 会員 39団体(社) 87名
- メディア 3社 4名

## [アンケート結果] N=69

セミナーの内容について

- ・ 大変面白かった 72.5%
- ・ 面白かった 27.5%

事業のヒントを得られたか

- ・ 大いに得られた 49.3%
- ・ ある程度得られた 44.9%
- ・ どちらでもない 5.8%

(主な意見)

- ・ 具体的な数字の提示があり、非常にわかりやすかった。あいまいな表現がなく言い切る話し方及び内容に入り込めた。
- ・ 数字をもとに気づきばかりであった。前向きな気持ちになった。
- ・ 地方創生を具体的に考えるには事実に基づき考えていくことが重要であり、特に成田・千葉には資源が豊富で「生かせる資源」「地域ブランド」をどう確立させるかが大切だと感じました。
- ・ 身近に観光資源が多くあることに驚かされました。
- ・ 外国人観光客は今後も増える。客目線で物をみないといけないと考えさせられた。
- ・ とにかくやらなければ何も得られない。わかってはいても非常に重く響きました。

## [総括]

- 話の構成、クイズ形式の導入、主張の明快さ等、聞き手を惹き付ける講演であり、多くの参加者に対し、気づきや活力を与えることができた。
- 地方創生というテーマでのセミナーだったため、自治体職員に多くご参加いただけた。

## (2) 空港利用促進事業

### 空港利用促進PR

新規就航等の時機を捉えたPRとして、会員及び就航先と連携し、空港利用促進や千葉県の魅力等を紹介するプロモーションを実施した。

#### [展開]

##### (1) ジェットスター・ジャパン長崎線新規就航関連

9月6日のジェットスター・ジャパン成田ー長崎線新規就航に伴い、成田国際空港株式会社及びジェットスター・ジャパン株式会社と連携し、長崎市で開催されたイベントにてプロモーションを実施した。

#### <プロモーション概要>

- ・日 程：平成30年10月20日(土)～21日(日)
- ・イベント名：KTN×FMの日 Lovefes 2018
- ・会 場：長崎水辺の森公園(長崎市)
- ・内 容：PRブースでの成田空港・千葉県の魅力紹介、パンフレット等の配布、抽選会の実施、チーバくんによるグリーティング及びステージイベント出演
- ・PRブース来場者数：2,684人以上 ※PRブースで実施した抽選会の参加人数により集計  
パンフレット配布数：2,000部  
(参考)イベント全体来場者数：約16万人



PRブース



チーバくんによるグリーティング



←PRブースに並ぶ  
来場者の列

## (2) ジェットスター・ジャパン高知線新規就航関連

12月19日のジェットスター・ジャパン成田ー高知線新規就航に伴い、成田国際空港株式会社及びジェットスター・ジャパン株式会社と連携し、高知市で開催されたイベントにてプロモーションを実施した。

### <プロモーション概要>

- ・日 程：平成31年3月9日（土）～10日（日）
- ・イベント名：土佐の「おきゃく」2019
- ・会 場：高知市中央公園（高知市）
- ・内 容：PRブースでの成田空港・千葉県の魅力紹介、パンフレット等の配布、抽選会の実施、チーバくんによるグリーティング、ステージでのPR
- ・PRブース来場者数：1,799人以上 ※PRブースで実施した抽選会の参加人数により集計
- パンフレット配布数：2,000部



ブースでのプロモーションの様子



ステージPR



チーバくんによるグリーティング

## [協力会員]

ジェットスター・ジャパン(株)、千葉県酒造組合、成田国際空港(株)、千葉県

## [総括]

- 長崎・高知ともLCCの認知度はまだまだ低いと感じたが、航空運賃や成田空港から都内へのアクセス等を伝えることでLCCに興味を持っていただける来場者が多くいた。LCC就航から間もない地方都市ではまずは認知度向上が必要なため、新規就航のタイミングにあわせ、就航先の方々に直接アプローチできる現地のイベント等でPRすることは成田LCCの利用促進に繋がると思料する。
- 高知PRでは、出展イベントのテーマが「お酒」であったことから、会員の千葉県酒造組合に協力いただき千葉のお酒についてPRを実施した結果、来場者から大変好評で千葉県のPRに繋がった。今後のプロモーションでも、イベントのテーマや就航先と千葉県の関連性等に応じて、会員と連携した効果的なPRに取り組みたい。

### (3) 基本的な取組

#### 首都圏中央連絡自動車道及び北千葉道路の整備推進に関する要望

2018年3月、成田空港に関する四者協議会において、環境対策等の遵守を前提に、第3滑走路の整備などからなる更なる機能強化について合意したところであり、「2020東京オリンピック・パラリンピックの開催」や「訪日外国人旅行客の飛躍的な増加」と相まって、成田空港の果たす役割はますます大きくなっている。

この成田空港から生じる経済的な効果を県内はもとより首都圏に波及させるためには、交通網の整備が極めて重要であり、その基幹インフラとなる首都圏中央連絡自動車道（圏央道）と北千葉道路の一日も早い開通が不可欠であることから、整備推進等について県内関係2団体とともに国に対して要望活動を実施した。



国土交通事務次官への要望



国土交通省道路局長への要望

#### 要望活動の様子

##### [展開]

- ・日 時 平成30年11月20日（火）13:00～
- ・参加団体 千葉県議会首都圏中央連絡自動車道推進議員連盟

##### [展開]

- ・日 時 平成30年11月20日（火）13:00～
  - ・参加団体 千葉県議会首都圏中央連絡自動車道推進議員連盟  
首都圏中央連絡自動車道建設促進県民会議
- 県内関係2団体とともに、国等に対して要望活動を実施した。

## 《要望先》

- ・財務大臣、財務副大臣、財務大臣政務官、財務事務次官、主計局長 ほか7名
- ・国土交通大臣、国土交通副大臣、国土交通大臣政務官、国土交通事務次官、道路局長 ほか21名
- ・県選出国會議員

## 《要望内容》

- 1 圏央道の一日も早い全線開通を図ること。
  - ・大栄・横芝間については、財政投融資の活用により整備を加速し、2024年度の開通に向け、確実に事業を進めること。
  - ・県境・大栄間の4車線化についても、財政投融資の活用により整備を加速し、2024年度までの供用に向け、確実に事業を進めること。また、残る暫定2車線区間については、早期に4車線化に着手し、一日も早く完成させること。
  - ・圏央道のストック効果をより高めるインターチェンジへのアクセス道路が確実に整備されるよう必要な予算を確保すること。
- 1 北千葉道路の早期整備を図ること。
  - ・全線開通の実現に向け、西側区間（小室IC以西）の早期事業化及び全線の直轄編入を図ること。
  - ・北千葉道路の西側区間（小室IC以西）は、有料道路事業制度を活用し、専用部と一般部を併設した規格の高い道路を早期に整備すること。
  - ・北千葉道路の成田市内の事業中区間のうち国施行区間については、今年度の開通に向け着実に整備を促進するとともに、引き続き、4車線での整備を図ること。
- 1 地方創生及び国土強靱化に資する社会資本整備予算を確保するため、必要不可欠な老朽化対策予算については、別枠として確保すること。
- 1 国内外からの観光集客や産業の振興を促進し、地域経済に好循環をもたらすストック効果を早期に発揮させるよう、圏央道及び北千葉道路といった民間投資を誘発するストック効果の高い道路事業をより推進するため、2019年度は圏央道・北千葉道路を含めた道路関係予算全体を増額すること。また、2018年度道路関係予算の増額補正を措置し、必要な予算を確保すること。

## [総括]

- この2つの道路は、成田空港の利便性向上や成田空港の経済効果を千葉県全体、首都圏全体に波及させるために不可欠な基幹インフラであることから、今後も引き続き要望活動を続けていく。

## 事業の見直し（会員提案の検討・実施）

協議会として、期間延長後の初年度となる平成30年度からは、より一層のプラットフォーム機能を発揮し、事務局・会員間の連携の強化、会員相互の連携・協働体制の構築・強化を図り、会員自身が主体となる事業の創出・自走化を促進するという事業展開方針を掲げている。

こうした事業展開方針から、協議会としての事業は原則、各会員からの提案に基づき実施するという枠組みのもと、以下のとおり、会員自身が主体となり協議会を通じて取り組みたい事業並びに他の会員との連携・協働により取り組みたい事業及びセミナー等について、各会員から提案や要望を募集し、事業化を検討・実施した。（なお、会員からの事業提案は随時募集している。）

### [展開]

募集期間：平成29年12月26日（火）～平成30年1月31日（水）まで

募集内容：平成30年度の実施事業及びセミナー

提案状況：① 会員からの事業提案（46件）

② セミナー等要望（5件）

③ 自由意見（5件）

### 《主な提案》

- ・親日アジア経済圏における県内経済活性化に向けた認知拡大とマーケティング
- ・ユニバーサルツーリズムセミナーの開催
- ・空港利用者をターゲットとした、県内のアクティビティ商品開発事
- ・将来的な人材育成を行うための基礎調査の実施
- ・会員企業と県内学生の交流による、地域に対してのキャリア教育事業
- ・成田線活性化推進協議会との連携
- ・海外からのメディア招請事業
- ・地域の小中学生を対象とした成田空港見学ツアー

### [総括]

- 事務局による検討を行い、事業展開方針に合致する提案を協議会事業として位置づけ実施した。

## (4) その他

### プレスリリース

協議会の活動を広く広報するため、プレスリリースなどにより、メディアへの掲載を図った。

#### 《プレスリリース実績》 5件

##### (平成30年)

- 5月22日 「平成30年度成田空港活用協議会総会及び第1回県内経済活性化ビジネスセミナーの開催について」
- 5月29日 「平成30年度第2回県内経済活性化ビジネスセミナー～外環道千葉県区間開通により期待される地域活性化効果と発展方向～」
- 10月26日 「千葉県30年度第3回県内経済活性化ビジネスセミナー～成田空港から地方創生を考える～」

##### (平成31年)

- 2月20日 「ランドオペレーターとの「商談会」の開催について～アジアからの観光客の更なる増加を目指します！～」
- 3月14日 「～日本航空関係先企業との「展示・集団商談会」～おいしい千葉と空の商談会2019春の開催について」

#### 《広告等掲載実績》 2件

##### (平成30年)

- 5月18日 日刊工業新聞

##### (平成31年)

- 2月25日 日刊工業新聞